

2016年度 研究センター事業報告書

研究センター名	コリア研究センター
研究センター長名	勝村 誠

I. 研究成果の概要

本欄には、研究センターの実施した研究の成果について、その具体的内容、意義、重要性等を、項目立てなどをおこなってできるだけわかりやすく記述してください。

1. 学術研究事業:プロジェクト事業(国際シンポジウム、月例研究会等)

(1)国際シンポジウム

- ①日中韓国際学術会議「朝鮮半島の情勢変化および東北アジア地域の安全保障」(6月18日)
- ②「朝鮮人留学生たちの京都」(7月30日)
- ③朝鮮大学校創立60周年記念国際シンポジウム「海外コリアンの民族教育と朝鮮大学校—歴史、その現在と未来と—」(11月12日)
- ④2016統一人文学世界フォーラム「東アジア人の記憶:痛みの連帯と共通の歴史」(12月17日)

(2) RiCKS 月例研究会及び特別研究会

- ①特別研究会:朴相根「セウォル号惨事から2年、韓国社会の対応を顧みる」
- ②第77回:金賢泰「北海道強制労働朝鮮人犠牲者の遺骨帰還—“70年ぶりの里帰り”事業について」
- ③第78回:姜健栄「ハワイへの韓人移民と敬天寺十層石塔」、深田晃二「朝鮮の石人像を訪ねて」
- ④第79回:高恩美「大島渚の在日:有罪可能性としてのカメラ」
- ⑤第80回:アレハンドロ・ゴンサレス・ラリオ「第三の道を超える在日韓国・朝鮮人:トランスナショナル・アイデンティティに向かつて」
- ⑥第81回:永田貴聖「日本と韓国におけるフィリピン人移住者の社会関係についての比較」
- ⑦第82回:趙頭一「非常事態期における文学と政治:1970年代前半の民衆文学を中心に」
- ⑧第83回:金成恩「離婚後の養育費履行確保について:韓国の法制度を参考に」
- ⑨第84回:許燕華「移民による遠隔地参加:中国朝鮮族の故郷運営を事例に」

(3) その他:

- ①文化イベント:朝鮮学校が問うもの—映画『蒼のシンフォニー』上映会(2月4日)
- ②シカゴ大学ブルース・カミングス教授との対話・インタビュー:
(インタビュアー:文京洙、君島東彦、秋林こずえ、李恩子、勝村誠)(10月15日)

2. 研究成果発信事業と新たなMOU締結

- (1)『コリア研究』第8号の発行、配布:特集「慰安婦」問題日韓合意を検証する」、投稿論文3、研究ノート1、寄稿1、新刊紹介5、活動報告等
- (2)ホームページによる情報公開、成果の公開

3. 若手人材育成

- ①第11回次世代研究者フォーラム「東アジアの歴史認識—‘対話的想起’は可能か—」開催、研究報告(6名)
- ②韓国国際交流財団(Korea Foundation)による海外韓国学若手研究者奨学生として4名を推薦、受給

以上

II. 拠点構成員の一覧

本欄には、2017年3月31日時点で各拠点にて所属が確認されている本学教員や若手研究者・非常勤講師・客員研究員等の構成員を全て記載してください。

※若手研究者とは、立命館大学に在籍する以下の職位の者と定義します。

①専門研究員・研究員、②補助研究員・RA、③学振特別研究員(PD・RPD)、④博士後期課程院生・一貫制博士課程3回生以上に在籍する院生

役割	氏名	所属	職位
センター長	勝村 誠	政策科学部	教授
	倉田 玲	法学部	教授
	山下 高行	産業社会学部	教授
	権 学俊	産業社会学部	教授
	秋葉 武	産業社会学部	教授
	金山 勉	産業社会学部	教授
	文 京洙	国際関係学部	教授
	中戸 祐夫	国際関係学部	教授
	桂島 宣弘	文学部	教授
	佐々 充昭	文学部	教授
	庵途 由香	文学部	教授
	宋 基燦	映像学部	准教授
	李 康国	経済学部	教授
	鄭 雅英	経営学部	教授
	石川 亮太	経営学部	教授
	松本 克美	法務研究科	教授
	金丸 裕一	経済学部	教授
	高屋 和子	経済学部	教授
	金 友子	国際関係学部	准教授
	総田 芳憲	立命館アジア太平洋大学	教授
	轟 博志	立命館アジア太平洋大学	教授
学内の若手研究者	専門研究員・研究員	裴 始美	立命館グローバル・イノベーション研究機構 専門研究員
		森 類臣	立命館グローバル・イノベーション研究機構 専門研究員
	補助研究員・リサーチアシスタント	該当なし	
	学振特別研究員(PD・RPD)	該当なし	
博士後期課程院生・一貫制博士課程3回生以上に在籍院生	該当なし		
その他の学内者 (非常勤講師・研究生・研修生等・博士前期課程院生等)		徐 勝	研究顧問
		大久保 史郎	立命館大学大学院法務研究科 非常勤講師 (研究顧問)
		水野 直樹	立命館大学文学部 客員教授(招聘A) (研究顧問)
		李 建濟	立命館大学、同志社大学、大阪大学 非常勤講師
		張 惠英	立命館大学産業社会学部 非常勤講師

	尹 健次	立命館大学文学部	非常勤講師
	宋 隠営	立命館大学産業社会学部	非常勤講師
	林 茂澤	立命館大学文学部	非常勤講師
	宋 基栄	立命館大学経済学部	授業担当講師
客員協力研究員	金津 日出美	高麗大学校文科大学日語日文学科	副教授
	戸塚 悦朗	国際人権法政策研究所	事務局長
	波佐場 清	大阪経済大学	非常勤講師
	川瀬 俊治	ジャーナリスト・ネット	共同代表
	高 賛侑	大阪経済法科大学アジア研究所	客員研究員
	青柳 純一	コリア文庫	共同代表
	金 政権	有限会社しょうざん営業部	
	高 恩美		
	梁 仁實	岩手大学人文社会科学部	准教授
	林 徳栄	大阪市立大学都市研究プラザ	特別研究員
	Gonzalez-Lario Alejandro		
	崔 美淑	祥明大学校 師範大学 国語教育科	教授
	趙 顯一	圓光大学校 師範大学 国語教育科	副教授
	金 賢泰	フォーラム 真実と正義	事務局長
	裴 貴得		
	許 燕華	京都大学文学部	非常勤講師
	元 承淵	MYONGJI UNIVERSITY Department of Business Administration	Associate Professor
	金 希妊	社団法人 ワンコリア	代表
その他の学外者 (他大学教員・若手研究者等)	坂本 悠一	立命館大学社会システム研究所	上席研究員
研究所・センター構成員 計 51 名 (うち学内の若手研究者 計 2 名)			

Ⅲ. 研究業績

本欄には、「Ⅱ. 拠点構成員の一覧」に記載した研究者の研究業績のうち、拠点に関わる研究業績を全て記載してください。(2017年3月31日時点)

1. 著書							
No.	氏名	著書・論文等の名称	単著・共著の別	発行年月	発行所、発表雑誌(及び巻・号数)等の名称	その他編者・著者名	担当頁数
1	裴玲美	Q&A'위안부' 문제와 식민지 지배 책임	共訳	2016年4月7日	삶이보이는창	高永珍	2部、3部
2	庵途由香	植民地初期の朝鮮農業 植民地近代化論の農業開発論を検証する	単訳	2016年4月30日	明石書店	許粹烈	
3	金丸裕一	賀川豊彦関係中国語雑誌・新聞記事史料(暫定版)	単著	2016年6月	立命館大学経済学部 金丸裕一研究室		
4	勝村誠	安重根と東洋平和論	共著、監訳	2016年9月	日本評論社	李泰鎮	i-xxx、44-76、387-398

2. 論文								
No.	氏名	著書・論文等の名称	単著・共著の別	発行年月	発行所、発表雑誌、巻・号数	その他編者・著者名	担当頁数	査読有無
1	権学俊	日本におけるレイシズムに関する一考察-スポーツイベントを中心として	単著	2016年4月	『日本語文学』日本語文学会		73, pp.424-461	有
2	金丸裕一	賀川豊彦の中国-語られ方/語り方	単著	2016年5月	キリスト教文化 2016年春(通巻7号)		pp.39-54	有
3	金丸裕一	『はじめての中国キリスト教史』を読む方々へ	共著	2016年8月	『はじめての中国キリスト教史』かんよう出版	石川照子・桐藤薫・倉田明子・松谷暉介・渡辺祐子著	pp. 6-9	無
4	金丸裕一	賀川豊彦関係中国語文献目録(初稿) - 1920年~1949年-	単著	2016年8月	『立命館経済学』		65/ 01, pp.93~118	無
5	金丸裕一	矢内原忠雄と『帝国主義下の台湾』	共著	2016年8月	『台湾を知るための60章』	赤松美和子・若松大祐編著	pp.64-66	有
6	金丸裕一	日中戦争時期所談論的中国-神職人員眼中的他者眼像	単著	2016年9月	『近代東亜国際視閥下的基督教教育與文化認同論文集』復旦大学中華文明国際研究中心	朱虹 訳	PP.93-119	有
7	勝村誠	安重根義士の東洋平和論と北東アジア平和共同体の模索	共著	2016年10月	『韓日協定 50年の再照明V-韓日協定 50年の省察と平和共同体の模索』,歴史空間	都時煥ほか	pp.395-419	有
8	鄭雅英	在日中国朝鮮族のアイデンティティーエスニシティの社会学的アプローチから	単著	2016年10月	『人権問題研究』第14号, 『朝鮮族研究学会誌』第6号		pp.55-67, pp/32-46	有
9	権学俊	東アジアのスポーツ・ナショナリズム	単著	2016年10月	『スポーツ社会学研究』24/2		pp.69-74	有
10	金丸裕一	『揚子江』総目次(1)	共著	2016年11月	『立命館経済学』65/2	乾暢之	pp.191-218	有
11	権学俊	鹿児島県知覧町における特攻戦跡と朝鮮人特攻隊員に関する小考	単著	2016年11月	『人文社会科学研究』24			有
12	石川亮太	朝鮮開港をどう考えるか: 拙著『近代アジア市場と朝鮮: 開港・華商・帝国』に寄せて	単著	2016年12月	『News letter (近現代東北アジア地域史研究会)』28		pp.72-79	有
13	金丸裕一	棟方文雄「聖戦と教会」の歴史的背景	単著	2016年12月	『ユーラクロン』238		pp.82-98	有
14	金丸裕一	『揚子江』総目次(2)	共著	2016年12月	『立命館経済学』65/3	乾暢之	pp.335-384	有
15	森類臣	예술 공연 '추억의 노래' 가 가지는 의미 (芸術公演「追憶の歌」が持つ意味)	単著	2016年12月	『북학연구학회보』제20권 제2호(『北韓研究学会報』第20巻第2号)		pp.125-152	有
16	権学俊	韓国における朝鮮人特攻隊員像の変容	単著	2017年1月	『立命館産業社会論集』52/4			有
17	金丸裕一	中国における賀川豊彦評価をめぐって- 1920年から1949年の事例研究	単著	2017年3月	『立命館経済学』65/6		pp.189-208	有

3. 研究発表等					
No.	氏名	発表題名	発表年月	発表会議名、開催場所	その他発表者名
1	権学俊	スポーツを通じた日韓交流・日韓友好関係の構築	2016年4月	開発と平和のためのスポーツ国際デー記念シンポジウム	是永大輔(アルビレックス新潟シンガポールCEO)、JICA 青年海外協力隊事務局

2	裴始美	『不通』から『疎通』へー 韓国の歴史教科書国定化問題からみる、青年と歴史、そして政治	2016年7月	第3回 ORIS シンポジウム「東アジアの選挙と民主主義」、東京都・早稲田大学	張智程(京都大学法学研究科・助教)、元山仁士郎(SEALDs RYUKU・国際基督教大学 学生)、上地聡子(ORIS・研究助手)
3	裴始美	立命館の朝鮮人留学生	2016年7月	朝鮮人留学生たちの京都, 同志社大学	水野直樹(京都大学 名誉教授、立命館大学 客員教授)、シム・チョルギ(延世大学校歴史文化学科 講師)、洪宗郁(ソウル大学校人文科学研究院・HK 教授)
4	水野直樹	戦前京都の朝鮮人留学生：概観と特徴	2016年7月	朝鮮人留学生たちの京都, 同志社大学	裴始美(立命館大学コア研究センター専任研究員)、シム・チョルギ(延世大学校歴史文化学科 講師)、洪宗郁(ソウル大学校人文科学研究院・HK 教授)
5	森類臣	北朝鮮はどのように『公共の敵』になったのかー日韓国交正常化交渉、帰国事業に関する日韓の日刊紙報道分析	2016年7月	日本マス・コミュニケーション学会, 韓国言論学会主催第22回日韓国際シンポジウム「メディアと政治、再考」、日本大学法学部(三崎町キャンパス)本館2階第1会議室	竹川俊一(立命館アジア太平洋大学)、鄭寿泳(成均館大学)
6	金丸裕一	中国における賀川豊彦評価をめぐって	2016年7月	中華圏プロテスタント研究会 第12回研究会	
7	金丸裕一	日本的基督教の中の賀川豊彦ー「大東亜戦争」支持の論理構造	2016年8月	東アジアキリスト教交流史研究会ソウルセミナー	
8	金丸裕一	日中戦争時期所談論の中国一神職人員眼中的他者鏡像	2016年9月	復旦大学中華文明国際研究中心訪問学者工作坊第三十三期 近代東亜国際視閥下的基督教教育與文化認同工作坊	
9	勝村誠	韓日文化葛藤の焦点としての安重根イメージ	2016年10月	韓国日本文化学会第51回国際学術大会	
10	勝村誠	東北アジア歴史認識問題の焦点としての安重根	2016年10月	東北亜細亜居文化学会・東亜細亜日本学会秋季連合国際学術大会	
11	権学俊	国民体育大会のあり方と問題を考える	2016年10月	フォーラム滋賀「2024年の国民体育大会の問題を考える」	
12	裴始美	「不通」から「疎通」へー 韓国の歴史教科書国定化問題からみる、青年と歴史、そして政治	2016年10月	北東アジア学会第22回学術研究大会, 慶應義塾大学三田キャンパス	張智程(京都大学)、野口真広(早稲田大学)、平野健一郎(東洋文庫)
13	裴始美	雑誌『亜細亜公論』と朝鮮	2016年10月	【早稲田文化芸術週間】シンポジウム「雑誌『亜細亜公論』と早稲田 留学生とアジアの公共空間の創出」、早稲田大学大隈小講堂	李成市(早稲田大学文学学術院教授)、後藤乾一(早稲田大学名誉教授)、紀旭峰(早稲田大学地域・地域間研究機構主任研究員)
14	金山勉	変貌をとげる日韓のメディア状況：環境変化の中で浮かびあがる課題を国際メディア比較研究の観点から概観する	2016年10月	Korea-Japan Joint Seminar: Similarities and Differences in Media Use of Korean and Japanese Adolescents	
15	森類臣	楽団系譜で見る音楽文化の現在ー牡丹峰楽団・青峰楽団を中心に(韓国語)	2016年10月	2016 TUMEN RIVER FORUM, Yanbian University	
16	森類臣	A continuity and innovativeness of "music policy" in the Kim Jong-un period	2016年11月	Korea Global Forum2016, Ministry of Unification, Republic of Korea, Hotel Shilla	
17	裴始美	제일조선인의 3.1 운동계승[在日朝鮮人の3・1運動継承]	2016年11月	3・1運動100周年記念事業国際学術会議“世界に広がった3・1運動ーロシア・中国・日本を中心にー”, 韓国・ソウル, 韓国プレスセンター	
18	権学俊	東京オリンピックの政治性ー三つのオリンピックの連続と断絶	2016年11月	韓国研究財団研究会	
19	金丸裕一	信仰と侵略 - 戦時日本基督教界言論評析	2016年12月	中国社会科学院近代史研究所 2016年第19期学術論壇	
20	権学俊	2002年日韓ワールドカップの歴史的意味と国民意識	2017年1月	京都自由大学研究会	

21	秋葉武	協同組合としてのトラック 共済—その生成と展開	2017年2月	共済理論研究会	
----	-----	----------------------------	---------	---------	--

4. 主催したシンポジウム・研究会等					
No.	発表会議名	開催場所	発表年月	来場者数	共催機関名
1	日韓国際学術会議「朝鮮半島の情勢変化 および東北アジア地域の安全保障」	吉林大学（中国）	2016年6月	15名	東国大学北韓学研究所，吉林大学東北ア ジア研究院
2	2016 統一人文学世界フォーラム「東アジ ア人の記憶：痛みと連帯と共通の歴史」	衣笠キャンパス創思館 カンファレンスルーム	2016年12月	140名	建国大学統一人文学研究団，延辺大学民 族文化研究所
3	特別研究会：セウォル号惨事から2年、韓 国社会の対応を顧みる	衣笠キャンパス至徳館 304 東会議室	2016年6月	50名	
4	立命館大学コリア研究センター 第77回月例研究会	衣笠キャンパス学而館 第3研究会室	2016年4月	30名	
5	立命館大学コリア研究センター 第78回月例研究会	衣笠キャンパス末川記 念会館第3会議室	2016年5月	20名	
6	立命館大学コリア研究センター 第79回月例研究会	衣笠キャンパス末川記 念会館第3会議室	2016年6月	20名	
7	立命館大学コリア研究センター 第80回月例研究会	衣笠キャンパス至徳館 304 東会議室	2016年7月	50名	
8	立命館大学コリア研究センター 第81回月例研究会	衣笠キャンパス至徳館 304 東会議室	2016年10月	50名	
9	立命館大学コリア研究センター 第82回月例研究会	衣笠キャンパス至徳館 304 東会議室	2016年11月	50名	
10	立命館大学コリア研究センター 第83回月例研究会	衣笠キャンパス末川記 念会館第3会議室	2016年12月	20名	
11	立命館大学コリア研究センター 第84回月例研究会	衣笠キャンパス末川記 念会館第3会議室	2017年1月	20名	

5. その他研究活動（報道発表や講演会等）				
No.	氏名	研究業績名	発表場所等	研究期間
1	森類臣	山々にチンダルレ、村々に烈士碑—中国東北部 の抗日史跡を訪ねて	『コリアン・スタディーズ』4号，国際高麗学会日本支部	2016年5月
3	水野直樹	戦前京都の朝鮮人留学生：概観と特徴	同志社大学	2016年7月
4	宋基燦	朝鮮学校が問うもの—映画「蒼のシンフォニー」 上映会 講演	充光館 B1 階 301 教室	2017年2月

6. 受賞学術賞					
No.	氏名	授与機関名	受賞名	タイトル	受賞年月
1	石川亮太	日本経済研究センター・日本経済新聞	第59回日経・経済図書文化賞	近代アジア市場と朝鮮	2016年11月

7. 科学研究費助成事業						
No.	氏名	研究課題	研究種目	開始年月	終了年月	役割
1	桂島宣弘	東アジア翻訳語ネットワークとナショナルヒストリーの 形成に関する思想史的研究	科研費基盤研究 (C)	2014年	2016年	代表
2	宋基燦	朝鮮学校卒業生の世界に関する民族誌的研究	科研費基盤研究 (C)	2014年	2016年	代表
3	庵途由香	植民地朝鮮社会における朝鮮駐屯日本軍の実態と役割に 関する基礎的研究	科研費基盤研究 (C)	2015年	2017年	代表
4	森類臣	北朝鮮の音楽政策に関する研究	科研費若手研究 (B)	2015年	2018年	代表
5	佐々充昭	戦前期における大本教と道院・紅卍字会と朝鮮新宗教団体 との連合運動に関する研究	科研費基盤研究 (C)	2016年	2019年	代表
6	松本克美	修復的正義の観点からの<損害の可視化>を実現するた めの損害論の法心理学的再構築	科研費基盤研究 (C)	2016年	2018年	代表

8. 競争的資金等(科研費を除く)						
No.	氏名	研究課題	資金制度・研究費名	採択年月	終了年月	役割
1	勝村誠	国際社会における紛争解決と葛藤解消に向けた学際統合型平和研究	文部科学省 私立大学戦略的基盤形成支援事業	2014年	2016年	代表
2	勝村誠	オール立命館による学際統合型平和研究拠点	立命館グローバル・イノベーション研究機構拠点形成型 R-GIRO 研究プログラム	2013年	2016年	代表
3	勝村誠	安重根研究他	奨学寄附研究	—	—	代表

9. 知的財産権								
No.	氏名	名称	出願人 区分	発明人 区分	出願番号	公開番号	登録(特許)番号	国
該当なし								

以上